

第三世界・アジア人民と団結し

即位の礼・大嘗祭」粉碎

米帝のアラブ軍事侵略彈劾！日帝の海外派兵阻止！

釜ヶ崎労働者の大暴動に統け

働く者の実力決起で 全人民的反撃の時代切り開こう

全国の同志・友人諸君！我々は、世界史的激動の時代の始まりをまの当りにしているエレクトロニクス・コンピューター、情報・通信、航空・宇宙などの現代先端産業に代表される第二次技術革新の波、地球規模で労働組織する技術のこの巨大な発達こそ、その力をわが物とした西側金融独占資本の東側国家独占資本に対する勝利をもたらし、東側の開放と民主化を促した基礎的因素であった。だがこの同じ生産諸力の癡達が、他方で西側金融独占資本の世界支配に権力を入り社会にとって耐え難いレベルに押し上げ、決定的に不安定化させつてあるのだ。イラクをめぐる事態は、そうした時代の幕開けに他ならない。米帝が大軍を派兵し、ソ社会を含む全世界の帝国主義と反動派が協調しても、帝国主義的支配秩序を乱す「小国を“制裁”」できでない。日帝も、米帝のアラブ（石油）支配に「貢献」すべく派兵の道へ踏み込もうとして、アジア・アラブ人民およびわが国民との全対決の道にはまってしまった。帝国主義・社会帝国主義は、全世界の被抑圧民族・人民の絶反乱の中に叩ききり込まれたのである。我々は、この絶反乱の先頭に立つて闘うと共に、アロレタリア世界革命によって彼らの根を止める最後の勝利を準備していくかねばならぬ。

ついに「海外派兵」が階級防衛の焦点に浮上した。敵階級は、八〇年代初頭に登場した中曾根政府の時以来「戦後政治の総決算」を公然と追求してきた。それは、わが国金融独占資本が老大的な海外権益を手にしたことの上に立って、これを武力で防護する国家へと国家の機構・政治基盤を再編せんとするものであつた。そして米帝も、日帝に（独帝と並び）世界支配の軍事分担をさせずにやつてゆけなくなつており、かつて自らが強制し、日帝を自己の政治経済体制に深く縛りつけるのに役立つ、日帝の経済大國化の条件にもなった戦後国家体制の再編を促迫してきたのである。だが、海外派兵が誤題にのぼるに至り、再編は戦後国家体制の枠のものに手を触れずにはな

10：10即位礼：本黨祭粉砲第一派行動

第一梯団の歩兵行進

に軍事の領域を含めて「国際貢献」しなければ海外権益の保障はしないぞ、と迫られた訳だ。そこで日本帝は、「国連平和協力隊」の仮面をかぶせた自衛隊の海外派兵の実現に突進し始めたのである。

このように、そもそも米帝の対イラク軍事展開が中東石油支配のものであり、それに加担する日帝の「国際貢献」はその一切が徹頭徹尾帝国主義的性格のものである。この事は、第世界・アラブの一民族ブルジョア政権によ

りも大差ない。「国連憲議」を支持し、もつと厳しい「経済制裁」を要求しているのである。米・ソ連陣営が脅威として世界の帝国主義支配秩序を維持して行こうとい

う帝国主義の政治目的に完全に調整しながら、それを憲法九条などといった提案しているにすぎない。

現代の労働者階級は、「国際

されると同時に、同時にいつからおさえておさえてばならないのは、敵が「國務」の牽引によってだけで民族排斥主義を煽動・助長する、いわゆる伝統的やり方によって、事実上軍事権を握る帝国主義への結果をうとしていることである。したがって、天皇の役割と即位の礼・大嘗祭のもの重大性があるのである。

を粉碎する爲めの闘いがおかれ、天皇の即位儀式は海外にまで及んでゐる。しかし、この儀式は天皇の名において行われると不可欠のものである。そこで支配と侵略戦争について述べる。その姿貌をも、軍隊を皮切りとしたアシア支配の先兵たるんとする。韓国・朝鮮・中国をしたアシア諸國の人民は、日本によってはさむけられ、その政治的、經濟的、文化的、社會的生活が、いかにも強制的で、いかにも無理な形で進歩せしむる。その結果として、アシア支配は、その本質からして、必ずしも長く続かないものである。アシア支配は、必ずしも長く続かないものである。

に起つて「海外派兵」が天皇は「痛恨の「海外派兵」た殖民地精神的支に新たにしてはじめて、自衛隊、東洋、

11・22 さよなら天皇！「即位の礼・
正午 代々公園野外ステージ
(午前八じ半 山谷玉姫公園)
さよなら天皇！「大嘗祭」に
反対する全国集会

さよなら天皇！「即位の大嘗祭」に反対する全国正午代々公園野外ステージ（午前八じ半 山谷玉姫公園）

[View all posts by admin](#) | [View all posts in category](#)

